



# 地球温暖化の緩和そして 農業持続性を目指した 土壌炭素(土壌有機物)の研究

Research on Soil Carbon (Soil Organic Matter: SOM) for  
Mitigation of Global Warming and Agricultural Sustainability

2022年

1月14日(金)

17:00~18:00

14th January at 17:00 JST

和穎 朗太 先生

(エコロジカル・セイフティー学)

prof. Rota Wagai

Ecological Safety Studies (ESS), Dept. of Biological and Environmental Engineering

venue: ZOOM

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/87414384279>

ID: 874 1438 4279 passcode: 560194



気 候変動下における農業や陸上生態系の持続性を考えるとき、足元の土の理解がカギとなります。養分供給や水分保持などの土が担う多くの重要な働きは、土壌有機物(SOM)と密接に関係しており、またSOMは陸上最大の炭素プールです。そのため、SOMそしてその骨格である土壌炭素の形成・消失プロセスについての研究が、世界で活発に進んでいます。本セミナーでは、この数十年のSOM研究におけるパラダイムシフト、そして私が行ってきた基礎的そして応用的側面の研究を紹介し、これらの知見の温暖化緩和、持続的農業、土壌生成への適用可能性について考えたいと思います。

共催: アグリコクーン農学における情報利用研究フォーラムグループ(FG5)

問合先 / inquiry

古橋 賢一 kfuruhashi[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp

ご関心のある皆様の積極的な参加を歓迎します。  
All faculty staff and students are welcome.